

## 《留学生向け特別授業（2単位）》

学部：日本法入門

大学院：法政理論特殊講義（修士課程）

法政理論特別研究（博士後期課程）

このことについて、下記のとおり開講しますので、履修希望者は担当係（学部生：教務担当，研究生・大学院生：学事担当）で履修登録期間に登録してください。

記

### 【授業内容】

学部生，研究生，大学院生として来日したばかりの留学生を対象に，日本の法学・政治学の基礎的理解を得ることを目的とする授業（詳細については，別紙参照）

### 【担当教員】

横路俊一，鈴木敦，小名木明宏，水野浩二，宇野二郎

### 【授業日程】（予定）

10月 7日（月）	1 講目	（担当：横路俊一）
10月15日（火）	1 講目	
10月21日（月）	1 講目	
10月28日（月）	1 講目	（担当：宇野二郎）
11月 6日（水）	1 講目	
11月11日（月）	1 講目	
11月18日（月）	1 講目	（担当：小名木明宏）
11月25日（月）	1 講目	
12月 2日（月）	1 講目	
12月 9日（月）	1 講目	（担当：水野浩二）
12月16日（月）	1 講目	
12月23日（月）	1 講目	
1月 6日（月）	1 講目	（担当：鈴木敦）
1月20日（月）	1 講目	
1月30日（木）	1 講目	

全15回

### 【実施方法】

対面授業

### 【評価方法】

授業参加態度及び各担当教員のレポートによる。

令和6年9月2日 教務担当・学事担当

**○担当：横路 俊一（3回）**

本講義は、日本の民事法（特に民法および民事訴訟法）に関する基礎的知識の習得を目的とするものである。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①民事法とは・民法総則の基礎
- ②物権法・債権法の基礎
- ③民事訴訟法の基礎

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。

**○担当：宇野 二郎（3回）**

本講義では、日本の地方行財政に関する基礎的知識の修得を目的とする。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①地方自治の原則と地方公共団体の種類
- ②地方公共団体の政治機構
- ③地方財政の制度

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。

**○担当：小名木 明宏（3回）**

本講義では、刑事法に関する基礎的知識の修得を目的とする。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①刑法総論の諸問題。
- ②刑法各論の諸問題。
- ③刑事法のその他の諸問題。

受講者には、それぞれの国の制度について説明を求めるので、各自自国の六法を持参するように。

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。

**○担当：水野 浩二（3回）**

近代の日本法は欧米諸国の法制度をほぼそのまま取り入れること（継受という）によって成立したものであるが、その後の運用に際してはかなりの「日本化」を示してもいる。

私の担当回（3回）では法史学を中心に、比較法や法社会学の見地もふくめ、

いわゆる基礎法学の観点から近代日本法の特徴を講ずることにしたい。

受講者は講義内容についてのレポートを 1000 字程度にまとめて提出することが求められる。

**○担当：鈴木 敦（3回）**

本講義では、日本の憲法に関する基礎的知識の習得を目的とする。

各回の講義では、次の内容を予定している。

- ①日本国憲法の成り立ちと基本原理
- ②人権保障のしくみ
- ③統治のしくみ

成績評価は、講義内容に関する 1000 字程度のレポートによって行う。